

FACTORY AUTOMATION

三菱 **取引・証明用** 電力量計



取引・証明用電力量計 リニューアルのすすめ

取引・証明用電気計器は計量法にて 「検定に合格したもの・有効期間内のもの」 と規定されています。

検定有効期間満了までに更新（検満更新）が必要です。

取引・証明用電気計器の検定満了更新をご検討される時、参考資料としてご活用ください。

※検定有効期間満了後に取引・証明用電気計器として
使用した場合、「計量法違反」となります。
尚、電力量計の維持管理は所有者（オーナー等）の
責務となります。

INDEX

1 三菱電力量計のシリーズ構成	2
2 取引・証明用電気計器の有効期間	
2-1 取引・証明用電気計器とは？	3
2-2 有効期間はどのように決められているの？	3
2-3 有効期間はどこを見ればわかるの？	4
3 電力量計の取替え方法	
取替え手順	6
特別検定とは	6
4 誘導形から「電力量計 M2PM (電子式)」の特別検定	
4-1 特別検定用負担器について	7
4-2 誘導形から特別検定が可能な機種	7
4-3 特別検定用負担器の仕様	7
5 電力量計との組合せ可能な変成器	8
6 三菱電力量計の機種変遷（普通級のみ）	9

三菱電力量計のシリーズ構成



三菱電力量計 置換早見表

相線式	取付	定格電圧 (V)	定格電流 (A)	M2LM シリーズ (誘導形) ^{*1} → M2PM シリーズ				M8UM シリーズ → M8FM シリーズ					M8P シリーズ
				発信装置なし		発信装置付		発信装置付		B/NET 伝送付		MODBUS 通信付	発信装置付
				生産終了機種	現行機種	生産終了機種	現行機種	生産終了機種	現行機種	生産終了機種	現行機種 ^{*2}	現行機種 ^{*2}	現行機種
単相2線式	表面形	100 200 240	30 120	M1LM	M1PM-R	M1LM-K5 M1LM-K11 M1LM-K12R	M1PM-S34R	M7UM-S33R	M7FM-S1R	M7UM-SN1R	M7FM-N1LTR M7FM-N1LT	M7FM-N3LTR M7FM-N3LT	-
	表面形	100 200 240	/5	M1LHM		M1LHM-K5 M1LHM-K11 M1LHM-K12R					M1PM-S34VR	-	
	埋込形	240 /110		M1LHM-V	M1LHM-K5V M1LHM-K11V M1LHM-K12VR	-	-	-	-	-			M7P-K30VR
単相3線式	表面形	100	30 120	M2LM	M2PM-R						M2LM-K5 M2LM-K11 M2LM-K12R	M2PM-S34R	M8UM-S33R
			60	-		-	-	-	-	-	-		
			250	-	-	-	-	M8UM-S33R	M8FM-S1R	M8UM-SN1R	M8FM-N1LTR M8FM-N1LT	M8FM-N3LTR M8FM-N3LT	
	表面形	/5	M2LHM	M2PM-R	M2LHM-K5 M2LHM-K11 M2LHM-K12R	M2PM-S34R	M8UM-S33R	M8FM-S1R	M8UM-SN1R	M8FM-N1LTR M8FM-N1LT	M8FM-N3LTR M8FM-N3LT		
埋込形	M2LHM-V		M2LHM-K5V M2LHM-K11V M2LHM-K12VR		M2PM-S34VR		-	-	-	-	-	M8P-K30VR	
三相3線式	表面形	200 100	30 120	M2LM	M2PM-R	M2LM-K5 M2LM-K11 M2LM-K12R	M2PM-S34R	M8UM-S33R	M8FM-S1R	M8UM-SN1R	M8FM-N1LTR M8FM-N1LT	M8FM-N3LTR M8FM-N3LT	-
			60	-		-		-	-	-	-	-	
			250	-	-	-	-	M8UM-S33R	M8FM-S1R	M8UM-SN1R	M8FM-N1LTR M8FM-N1LT	M8FM-N3LTR M8FM-N3LT	
表面形	200 100 /110	/5	M2LHM	M2PM-R	M2LHM-K5 M2LHM-K11 M2LHM-K12R	M2PM-S34R	M8UM-S33R	M8FM-S1R	M8UM-SN1R	M8FM-N1LTR M8FM-N1LT	M8FM-N3LTR M8FM-N3LT		
			埋込形		M2LHM-V		M2LHM-K5V M2LHM-K11V M2LHM-K12VR	M2PM-S34VR	-	-	-	-	-
三相4線式	表面形	100/173 240/415	30 120	M3LM	M3PM-R	M3LM-K5 M3LM-K11 M3LM-K12R	M3PM-S34R	-	-	-	-	-	-
			表面形	100/173 240/415		M3LHM							
	埋込形	63.5/110	/5	M3LHM-V	M3PM-R	M3LHM-K5V M3LHM-K11V M3LHM-K12VR	M3PM-S34VR	-	-	-	-	-	M9P-K30VR
外観写真				 <M2LM シリーズ> (誘導形) <M2PM シリーズ>				 <M8UM シリーズ> <M8FM シリーズ>				 (M8P シリーズ)	

*1 M2LMシリーズ (誘導形) の単相3線式及び三相3線式120A定格品を更新するとき、誘導形と取付ピッチを合わせる場合はM2PM-AD形120A計器取付互換用部品 (別売) が必要です。
 *2 M7FM-N□LTR, M8FM-N□LTRは単方向計器、M7FM-N□LT, M8FM-N□LTは双方向計器です。

電力量計 個別カタログ

機種選定・仕様・取扱及び「安全のために必ずお守りください」などを記載しています。
 「リニューアルのおすすめ」ともにご活用ください。

	機 種	カタログ名	資料番号
電子式電力量計	M2PM シリーズ	三菱電子式電力量計 M2PM シリーズ	Y-0772
	M8FM シリーズ	スマートメーター機能搭載 三菱電力量計 M8FM シリーズ	Y-0801
	M8UM シリーズ	三菱表面形電子式電力量計 M8UM シリーズ	Y-0599
	M8P シリーズ	三菱電力量計・三菱電力管理用計器	Y-0564
誘導形電力量計	M2LM・M2LHM シリーズ	三菱集中自動検針システム	

MODBUSは、Schneider Electric USA Inc.の登録商標です。

2 取引・証明用電気計器の有効期間

1 取引・証明用電気計器とは？

貸しビル、マンション・アパート、市場、貸店舗、寮等で、オーナーが電力会社に一括して支払った電気料金をそれぞれの使用量に応じて配分するために設置するメーターを「**取引・証明用電気計器(子メーター)**」といいます。

- ① 証明に使用される電力量計は、計量法により「**基準適合検査又は日本電気計器検定所にて検定に合格した検定有効期間内のもの**」を使用することが義務付けられています。
検定有効期間満了後に取引・証明用電気計器として使用した場合、**計量法違反**となります。
- ② 電力量計の維持管理は**所有者(オーナー等)の責務**になります。

ワンポイント

- 取引・証明用電気計器は、基準適合品又は検定品を設置しましょう。
- ご使用中の取引・証明用電気計器は有効期間満了までに取替えましょう。

計量法:第16条 使用の制限 (禁じられている事項)

- 1) 検定証印又は基準適合証印が付されていないものを使用すること
- 2) 検定証印又は基準適合証印の有効期間を経過したものをを使用すること
- 3) 変成器とともに使用する電気計器の場合、同じ番号が付されていない変成器とともに使用すること

計量法:第172条 罰則

第16条の使用の制限に違反した場合は、「6ヶ月以下の懲役若しくは50万円以下の罰金に処し、またはこれを併科する」



2 有効期間はどのように決められているの？

(1) 取引・証明用電気計器の有効期間

取引・証明用電気計器の有効期間は、計量法施行令第18条により次のように規定されています。

計器の種類		条件	有効期間
① 単独計器	誘導形	定格電圧300V以下で30A、120Aの計器	10年
	電子式	定格電圧300V以下で30A、60A、120A、250Aの計器	
② 変成器組合せ計器	誘導形・電子式	定格電圧又は計器用変圧器(VT)の一次電圧が300V以下で、変流器(CT)の一次電流が120A以下の計器	7年
③ 変成器組合せ計器	誘導形	上記②以外のもの	5年
	電子式		7年

電力量計のJIS規格名は「変成器付計器」と称しますが、本カタログでは「変成器組合せ計器」と記載しています。

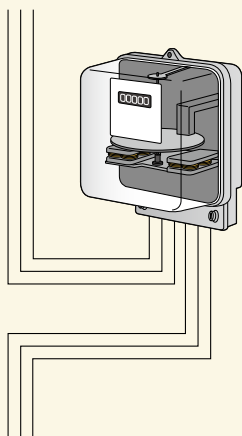
ワンポイント

三菱電力量計M8FMシリーズは250Aの単独計器もラインアップしています。
誘導形で使用する場合と比べて有効期間が2倍とお得です。
(5年→10年)

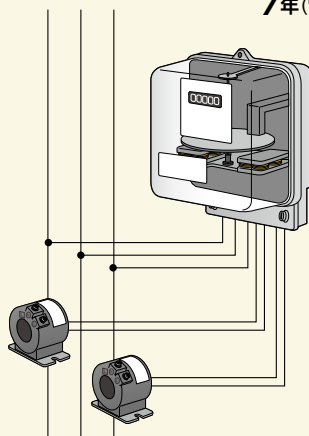


主な使用例と有効期間

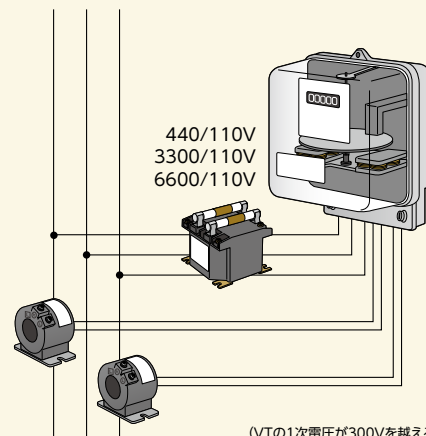
- ① 100V 30A, 120A
100V 60A, 250A(電子式) ... **10年**
200V 30A, 120A
200V 60A, 250A(電子式)



- ② 100V・200V:CT 120/5A以下.....**7年**
③ 100V・200V:CT 150/5A以上.....**5年(誘導形)**
7年(電子式)



- ⑤ **5年(誘導形)**
7年(電子式)





3 有効期間はどこを見ればわかるの？


(1) 単独計器 (変成器と組合せない計器)

電力量計の正面に貼付けてある基準適合証印ラベル又は検定ラベルに有効期間が表示されています。

電子式

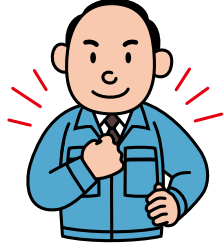


電子式



誘導形





基準適合証印ラベル
(基準適合品)



有効期間：平成40年10月満了
(2028年10月満了)

又は

検定ラベル
(検定品)



有効期間：平成40年10月満了
(2028年10月満了)

ワンポイント

基準適合証印ラベルは、経済産業大臣より指定を受けた製造事業者が貼付することができるものです。基準適合証印ラベルと検定ラベルは同じ検定効力があります。

●取引・証明用計器の有効期限の表示

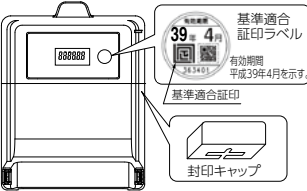
取引・証明用計器の有効期限（年月の表示）は次の方法で表示されます。
 なお、有効期限の年表示は2019年1月より「平成」から「西暦4桁」表示に変更されました。
 年表示が2桁の場合、年号は「平成」となりますので西暦に読み替えて有効期限をご確認ください。
 ※平成から西暦への読み替えはP8を参照ください。

電力量計正面（右側）に貼り付けてある基準適合証印ラベル又は検定ラベルに表示されています。

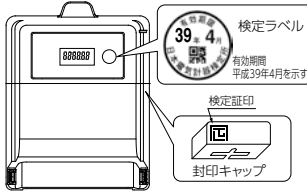
2018年（平成30年）12月以前の有効期限の年表示は「平成」です。


2019年（平成31年）1月以降の有効期限の年表示は「西暦(4桁)」です。

基準適合品 (自主検査品)




検定品





基準適合証印ラベル
有効期限 2031年11月を示します



検定ラベル (イメージ図)
有効期限 2031年11月を示します

※基準適合品と検定品は同じ効力があります。

有効期限の年月は「40年12月」までの表示があります。
 (40年12月は西暦2028年12月に相当します)
 ※基準適合品と検定品は同じ効力があります。

(2) 変成器組合せ計器



電力量計には検定票(ファイバー製)と合番号票(金属製)が取付いており、有効期間は検定票に表示されています。なお、組合せの変成器には合番号票のみが取付いています。

検定票(茶かっ色又は灰色のファイバー製)

検定の有効期間が表示されています。
(基準適合証印ラベル及び検定ラベルは貼付けてありません)

表面 ○ 広 37 10 裏面 ○ 広 08787

検定所の略称 有効期間 (平成37年(2025年)10月満了) 検定番号


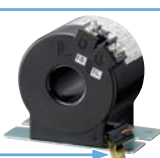



合番号票(金属製)

初回検定に合格した年月及び合番号が表示されています。
(合番号票には有効期間は表示されていません)

表面 ○ 広 09123 裏面 ○ 広 23 10

検定所の略称 合番号 初回検定に合格した年月(平成23年10月合格)

ワンポイント

特別検定*を受けると、電力量計の検定票は新しいものに代わります。合番号票は初回検定時から変更はありませんので、取外さないでください。

※特別検定については6ページを参照ください。

	初回検定時 (平成23年4月検定)	特別検定後 (平成30年4月検定)
検定票表面	○ 広 30 10	○ 広 37 10
検定票裏面	○ 広 09123	○ 広 08787
合番号票表面	○ 広 09123	○ 広 09123
合番号票裏面	○ 広 23 10	○ 広 23 10

そのため、特別検定としてご注文いただく際には、既設の合番号情報が必要となります。



●取引・証明用計器の有効期限の表示

取引・証明用計器の有効期限(年月の表示)は次の方法で表示されます。

なお、有効期限の年表示は2019年1月より「平成」から「西暦4桁」表示に変更されました。年表示が2桁の場合、年号は「平成」となりますので西暦に読み替えて有効期限をご確認ください。
※平成から西暦への読み替えはP8を参照ください。

●表面形計器

電力量計正面(右側上部)の検定封印穴に取り付けられている「検定票」に表示されています。

●埋込形計器

電力量計正面(下部)の封印部(封印ねじ及び封印穴)に取り付けられている「検定票」に表示されています。

2018年(平成30年)12月以前の有効期限の年表示は「平成」です。

2019年(平成31年)1月以降の有効期限の年表示は「西暦(4桁)」です。

検定票(ファイバー製)

表 ○ 広 37 4 ... 検定期間満了の年月を表します。
(平成37年(2025年)4月満了)

裏 ○ 広 05307 ... 検定番号を表します。

最初の文字は検査実施場所の略称です。
有効期限の年月は「37年12月」までの表示があります。
(37年12月は西暦2025年12月に相当します)

合番号票(金属製)

表 ○ 広 05307 ... 合番号を表します。

裏 ○ 広 30 4 ... 検定を実施した年月を表します。
(平成30年(2018年)4月検定合格)

最初の文字は検査実施場所の略称です。

検定票(ファイバー製)

表 ○ 2028 11 ... 検定期間満了の年月を表します。
(2028年11月満了)

裏 ○ 広 09312 ... 検定番号を表します。

検定番号の最初の文字は検査実施場所の略称です。
(表(検定期間満了)は検査実施場所の略称はありません)

合番号票(金属製)

表 ○ 広 09312 ... 合番号を表します。

裏 ○ 2021 11 ... 検定を実施した年月を表します。
(2021年11月検定合格)

合番号の最初の文字は検査実施場所の略称です。
(裏(検定実施年月)は検査実施場所の略称はありません)

3 電力量計の取替え方法



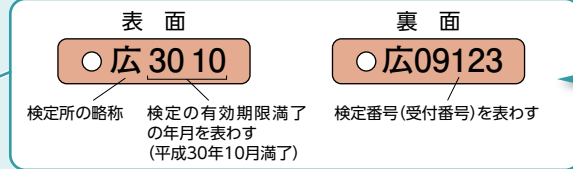
有効期限を超過した取引・証明用電気計器は、電気料金の取引及び証明には使用できません。基準適合証印ラベル又は検定ラベル(いずれも単独計器)、検定票(変成器組合せ計器)に表示された有効期限満了迄に新しく取替える必要があります。

取替え手順：変成器組合せ計器の場合

1 電力量計のカバー封印個所に取付けられている検定票より、有効期限を確認してください。

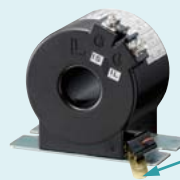


検定票：茶かっ色(有効期間7年)又は灰色(有効期間5年)のファイバー製



左記例では、検定有効期限は平成30年(2018年)10月までとなります。

2 変成器に取付けられている合番号票より、変成器の初回検定年月を確認してください。(変成器での確認が困難な場合は、電力量計に取付いている合番号票でご確認ください)



合番号票：金属製



左記例では、平成37年(2025年)10月までは、変成器を取り替えないで電力量計のみを交換する「特別検定」を受けることもできます。

3 電力量計に取付けられている検定票及び変成器に取付けられている合番号票より、電力量計のみ取替える(特別検定*)か、変成器も同時に取替える必要があるか決定してください。(誘導形電力量計から電子式電力量計M2PMシリーズへの特別検定についてはP7を参照ください)

4 電力量計の取替え工事日程を決定し、必要な計器等をご注文ください。

①電力量計と変成器を同時にお取替え頂く場合

電力量計と変成器を同時にご注文頂き、検定が必要な旨ご連絡ください。なお、変成器を選定する際には、p8「(1)電力量計との組合せ検定可能機種」を参考にしてください。

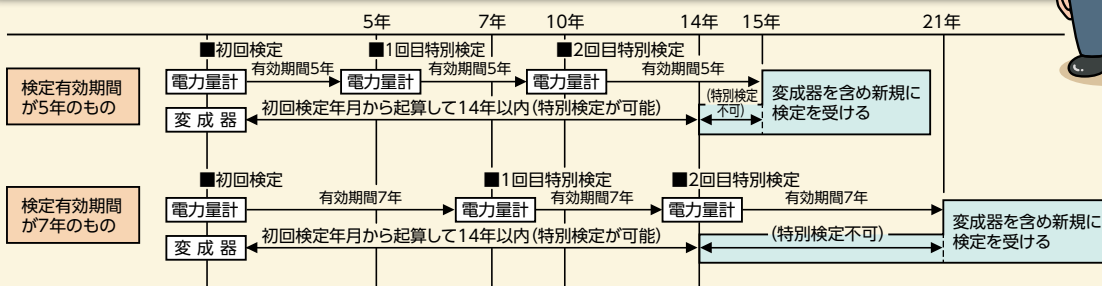
②電力量計のみお取替え頂く場合(特別検定*)

特別検定の電力量計をご注文のときは電力量計の仕様(形名、定格電圧、電流、変成比、周波数等)と特別検定に関する以下の情報をご指示ください。

- 合番号・初回検定年月(合番号票の表裏) 上記例では合番号:広09123, 初回検定年月:23年10月となります。
- 変成器の形名
- 変成器の製造番号
- 「特別検定」が必要な旨のご連絡

※特別検定とは?

初回検定年月から14年を経過していない変成器と組合せの場合、電力量計のみ検定を受けることができる制度です。通常の検定は、電力量計と変成器を同時に提出して検定を受けますが、特別検定は変成器の調達や変成器の交換工事が不要になるメリットがあります。



4 誘導形から「電力量計M2PM(電子式)」の特別検定

「変成器組合せの誘導形電力量計」の検定満了更新が行なわれる場合、以下の方法があります。

- 新規検定：WHM、VT（組合せ使用のときのみ）、CT を新規に調達して「検定」を行う方法。（変成器の取替工事が必要）
- 特別検定：電力量計 M2PM シリーズ(電子式)にて「特別検定」を行う方法 ⇒ 「特別検定用負担器」が必要です。
- 既設と同一機種にて特別検定を行う方法。

1 特別検定用負担器について

計器用変成器の使用負担範囲（電力量計の電圧回路及び電流回路の負担と力率の値）が誘導形電力量計（既設）と電力量計 M2PM シリーズ(電子式)は異なるため、誘導形の検定満了更新として電力量計 M2PM シリーズ(電子式)単独では特別検定が受けられません。

上記の使用負担範囲（電力量計の負担及び力率の値）を合わせるための「特別検定用負担器」と組合せることで電力量計 M2PM シリーズ(電子式)にて特別検定が可能となります。

特別検定用負担器は VT 及び CT2 次回路に電力量計 M2PM シリーズ(電子式)と組合せて使用します。

2 誘導形から特別検定が可能な機種

	既設品（誘導形）		特別検定の機種（M2PM シリーズ）		CT 組合せ（VT なし）		VT・CT 組合せ		
	表面形	埋込形	表面形	埋込形	特別検定（M2PM シリーズ）	負担器の台数 M2PM-LC	特別検定（M2PM シリーズ）	負担器の台数 M2PM-LC M2PM-LV50 M2LM-LV60	
単相	M1LHM	M1LHM-V	M1PM-R	M1PM-VR	○	1台	○	1台	1台
	M1LHM-K5	M1LHM-K5V	M1PM-S34R	M1PM-S34VR	○	1台	○	1台	1台
2線	M1LHM-K11	M1LHM-K11V	M1PM-S34R	M1PM-S34VR	○	1台	×	-	-
	M1LHM-K12R	M1LHM-K12VR	M1PM-S34R	M1PM-S34VR	○	1台	×	-	-
単相 3線	M2LHM	M2LHM-V	M2PM-R	M2PM-VR	○	2台	対象無し	-	-
	M2LHM-K5	M2LHM-K5V	M2PM-S34R	M2PM-S34VR	○	2台			
	M2LHM-K11	M2LHM-K11V	M2PM-S34R	M2PM-S34VR	○	2台			
	M2LHM-K12R	M2LHM-K12VR	M2PM-S34R	M2PM-S34VR	○	2台			
三相 3線	M2LHM	M2LHM-V	M2PM-R	M2PM-VR	○	2台	○	2台	2台
	M2LHM-K5	M2LHM-K5V	M2PM-S34R	M2PM-S34VR	○	2台	○	2台	2台
三相 3線	M2LHM-K11	M2LHM-K11V	M2PM-S34R	M2PM-S34VR	○	2台	×	-	-
	M2LHM-K12R	M2LHM-K12VR	M2PM-S34R	M2PM-S34VR	○	2台	×	-	-
三相 4線	M3LHM	M3LHM-V	M3PM-R	M3PM-VR	○	3台	×	-	-
	M3LHM-K5	M3LHM-K5V	M3PM-S34R	M3PM-S34VR	○	3台	×	-	-
三相 4線	M3LHM-K11	M3LHM-K11V	M3PM-S34R	M3PM-S34VR	○	3台	×	-	-
	M3LHM-K12R	M3LHM-K12VR	M3PM-S34R	M3PM-S34VR	○	3台	×	-	-

○：特別検定が可能です。右欄に記載の特別検定用負担器と組合せてご使用ください。

×：特別検定は受けられません。WHM 及び計器用変成器（VT・CT）の新規組合せの検定が必要です。（VT・CT の取替工事が必要です）

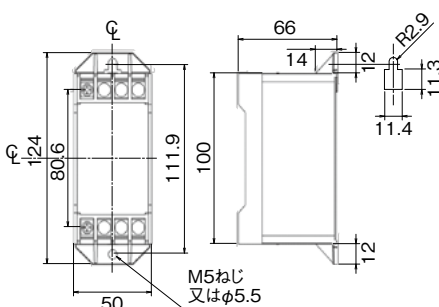
注1. 初回検定（既設品）の申請内容によっては特別検定が受けられない場合があります。予めご了承ください。

3 特別検定用負担器の仕様

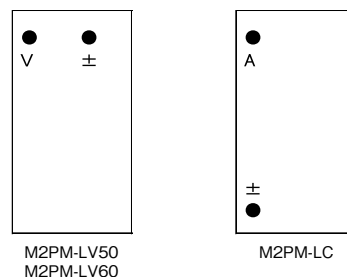
仕様一覧

形名	CT2 次回路用		VT2 次回路用	
	M2PM-LC	M2PM-LV50	M2PM-LV60	
定格周波数	50-60Hz（共用）		50Hz	60Hz
定格電圧	—		110V	110V
定格電流	5A		—	—
負担値（平均値）	2.5VA 力率 0.5（50Hz） 2.8VA 力率 0.5（60Hz）		4.7VA 力率 0.2	4.9VA 力率 0.2
質量（kg）	0.2		0.3	0.3

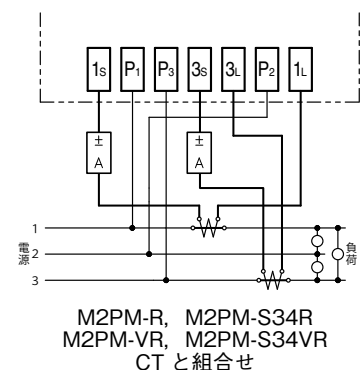
外形寸法図・取付寸法図（単位：mm）



端子配置図



接続図



注1. 各相線式の接続図及び特別検定用負担器と組合せた特別検定の注文方法は「電子式電力量計 M2PM シリーズ (Y-0772)」をご参照ください。

注2. 特別検定用負担器には極性はありませんで特別検定用負担器を上下逆に接続しても問題ありません。

5 電力量計との組合せ可能な変成器



(1) 電力量計との組合せ検定可能機種

- この表は電力量計と組合せて検定が可能な計器用変圧器と変流器の形名を示します。
- 計器用変圧器および変流器の各々の使用負担(変成器の二次側に接続される電力量計、計器などの合計負担VA)は下表に記載の検定可能な使用負担の範囲内としてください。

記号説明

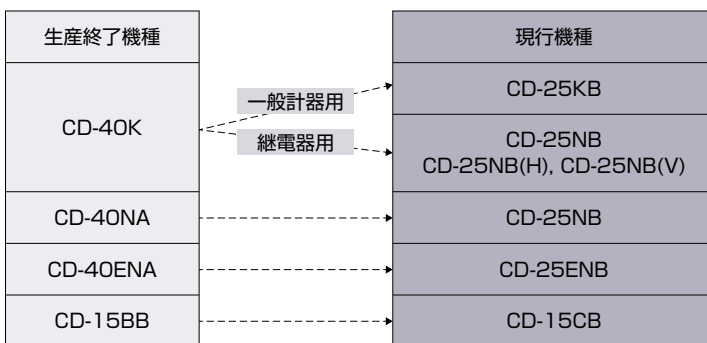
- ◎標準品:
標準仕様品がそのまま使用できます。
- 準標準品:
VTおよびCTは検定用として製作が必要です。必ず「検定用」または「検定付」とご指定ください。

電力量計区分	回路電圧	形名	変圧比 V	PE-15		PD-50H		PD-50HF		EP-0FH	PD-100KFH	PD-15KFH	PD-25KFH	
				PE-15F		PD-50HF				(定格負担 50VAのみ)				
				220/110 440/110		220/110 440/110		3300/110 6600/110		3300/110 6600/110		3300/110 6600/110	3300/110 6600/110	3300/110 6600/110
検定申請可能な使用負担 VA			CTのみの場合			0.1~5		5~12						
変流比A						(注1)		(注2)						
普通電力量計の場合	1100V以下	CW-5LS3	150/5, 200/5, 250/5	1~5	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	
		CW-5LMS3	250/5, 300/5, 400/5	1~5	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	
		CW-15LS	5/5~750/5	1~5	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	
		CW-15LMS	200/5~4000/5	2~10	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	
		CW-15LMS	5000/5~6000/5	2~10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	6600V以下	CD-25KB	5/5~750/5	1~25	-	-	-	◎	-	-	-	○	-	-
		CD-25NB	5/5~500/5	1~25	-	-	-	◎	-	-	-	○	-	-
		CD-25ENB	5/5~400/5	1~25	-	-	-	◎	-	-	-	○	-	-
		CD-40H	600/5~2000/5	2~30	-	-	-	-	◎	-	-	○	-	-
		CD-40GNA	5/5~200/5	4~30	-	-	-	-	◎	-	-	○	-	-
		CD-40LN	5/5~100/5	4~30	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-
		EC-0 (LA)	5/5~300/5	2~30	-	-	-	-	○	◎	-	○	-	-
		BN-0 (LA)	10/5~1500/5	4~30	-	-	-	-	○	○	-	○	-	-
		精密電力量計の場合	6600V以下	CD-15CB	5/5~400/5	4~10	-	-	-	-	-	-	-	○
BN-0 (LA)	10/5~1500/5			4~10	-	-	-	-	-	-	-	○	○	

注1. 5.0VAを含みます。
 注2. 5.0VAを含みません。
 注3. PD-100KFH形は組合せCTの特性および組合せの電力量計他、計器の負担、力率によって製作仕様を決定しますので組合せCTの仕様およびVT・CTの使用負担の詳細をご確認ください。

(2) 高圧変流器 置換早見表

既設:CD-40シリーズからCD-25シリーズへ更新されるときにご活用ください。



注1. CD-40K形を継電器用でお使いの場合、後継機種はCD-25NB形となります。
 CD-25KB形は継電器用として使用できません。(CD-25KB形は過電流定数の仕様はなく、定格を超える電流での精度保証はありません)
 注2. CD-25NB形はCD-40K形と取付互換性はありませんが、CD-40K形の取付足と互換のあるCD-25NB (H) 形・CD-25NB (V) 形をラインアップしております。

(3) 検定有効期限(早見表)

検定有効期限の確認などで平成から西暦へ読み替えるときにご活用ください。

平成	西暦	平成	西暦
-	2028	H30	2018
-	2027	H29	2017
H38	2026	H28	2016
H37	2025	H27	2015
H36	2024	H26	2014
H35	2023	H25	2013
H34	2022	H24	2012
H33	2021	H23	2011
H32	2020	H22	2010
H31	2019	H21	2009
		H20	2008



3. 変成器組合せ計器 (発信装置なし)

取付・接続方式	相線式	定格電流	西暦																																																																									
			70							75							80							85							90							95							00							05							10							15							20			
			昭和																																																																									
			平成																																																																									
			令和																																																																									
			43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31(1)	2	3																				
表面形 (表面取付 表面接続)	単相 2線式	5A	MF-72 → MF-80H → M1BH → M1LHM → M1PM-R																																																																									
	単相 3線式		MU-70 → MU-80HE → M2BH → M2LHM → M2PM-R																																																																									
	三相 3線式		MU-70 → MU-80H → M2BH → M2LHM → M2PM-R																																																																									
	三相 4線式		YU-72 → MH-80H → M3BH → M3LHM → M3PM-R																																																																									
埋込形 (埋込取付 背面接続)	単相 2線式		MF-72B → MF-80HV → M1BH-V → M1LHM-V → M1PM-VR																																																																									
	単相 3線式		MU-70B → MU-80HEV → M2BH-V → M2LHM-V → M2PM-VR																																																																									
	三相 3線式		MU-70B → MU-80HV → M2BH-V → M2LHM-V → M2PM-VR																																																																									
	三相 4線式		YU-72B → MH-80HV → M3BH-V → M3LHM-V → M3PM-VR																																																																									

4. 変成器組合せ計器 (発信装置付・通信機能付)

取付・接続方式	相線式	定格電流	西暦																																																																									
			70							75							80							85							90							95							00							05							10							15							20			
			昭和																																																																									
			平成																																																																									
			令和																																																																									
			43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31(1)	2	3																				
表面形 (表面取付 表面接続)	単相 2線式	5A	MF-72L → MF-72K5 → MF-80HK5 → M1BH-K5 → M1LHM-K5 → M1PM-S34R																																																																									
	単相 3線式		MU-70L → MU-70K5 → MU-80HEK5 → M2BH-K5 → M2LHM-K5 → M2PM-S34R																																																																									
			MU-80HK11 → M2BH-K11, M2BH-K12R → M2LHM-K11, M2LHM-K12R → M2PM-S34R																																																																									
	三相 3線式		MU-70L → MU-70K5 → MU-80HK5 → M2BH-K5 → M2LHM-K5 → M2PM-S34R																																																																									
埋込形 (埋込取付 背面接続)	単相 2線式		MF-72BL → MF-72K5B → MF-80HK5V → M1BH-K5V → M1LHM-K5V → M1PM-S34VR																																																																									
	単相 3線式		MU-70BL → MU-70K5B → MU-80HEK5V → M2BH-K5V → M2LHM-K5V → M2PM-S34VR																																																																									
			MU-70BM → 受変器の仕様により受信装置の形式を決定する → MU-80HK11V → M2BH-K11V, M2BH-K12VR → M2LHM-K11V, M2LHM-K12VR → M2PM-S34VR																																																																									
	三相 3線式		MU-70BL → MU-70K5B → MU-80HK5V → M2BH-K5V → M2LHM-K5V → M2PM-S34VR																																																																									
三相 4線式	YU-72K2 → YU-72K5B → MH-80HK5V → M3BH-K5V → M3LHM-K5V → M3PM-S34VR																																																																											
	MH-80HK11V → M3BH-K11V, M3BH-K12VR → M3LHM-K11V, M3LHM-K12VR → M3PM-S34VR																																																																											

ご採用に際してのご注意

- 本製品を、原子力用、電力用、航空宇宙用、医療用、乗用移動体用の機器あるいはシステムなど特殊用途への適用をご検討の際には、当社の営業担当窓口までご照会ください。
- 当社の責に帰すことができない事由から生じた損害、当社製品の故障に起因するお客様での機会損失、逸失利益、当社の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、二次損害、事故補償、当社製品以外への損傷およびその他の業務に対する補償については、当社は責任を負いかねます。

⚠ 安全に関するご注意

- 本カタログに記載された製品を正しくお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。
- 安全のため接続は電気工事、電気配線などの専門技術を有する人が行ってください。

三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル)

お問い合わせは下記へどうぞ

本社機器営業部	〒110-0016 東京都台東区台東1-30-7(秋葉原アイマークビル3F)	(03)5812-1350
関東機器営業部	〒330-6034 さいたま市中央区新都心11-2(明治安田生命さいたま新都心ビル ランドアクシス・タワー34F)	(048)600-5845
新潟支店	〒950-8504 新潟市中央区東大通1-4-1(マルタケビル4F)	(025)241-7227
神奈川機器営業部	〒220-8118 横浜市西区みなとみらい12-2-1(横浜ランドマークタワー18F)	(045)224-2623
北海道支店	〒060-8693 札幌市中央区北二条西4-1(北海道ビル5F)	(011)212-3789
東北支社	〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院1-1-20(花京院スクエア)	(022)216-4557
北陸支社	〒920-0031 金沢市広岡3-1-1(金沢パークビル)	(076)233-5501
中部支社	〒450-6423 愛知県名古屋市中村区名駅3-28-12(大名古屋ビルヂング22F)	(052)565-3324
豊田支店	〒471-0034 豊田市小坂本町1-5-10(矢作豊田ビル)	(0565)34-4112
関西支社	〒530-8206 大阪市北区大深町4-20(グランフロント大阪タワーA)	(06)6486-4097
中国支社	〒730-8657 広島市中区中町7-32(ニッセイ広島ビル)	(082)248-5296
四国支社	〒760-8654 高松市寿町1-1-8(日本生命高松駅前ビル)	(087)825-0072
九州支社	〒810-8686 福岡市中央区天神2-12-1(天神ビル)	(092)721-2243

電話技術相談窓口 受付時間 月曜～金曜 9:00～19:00、土曜・日曜・祝日 9:00～17:00(春季・夏季・年末年始の休日を除く)

対象機種		電話番号
電力管理用計器	電力量計/スマートメーター/計器用変成器 指示電気計器/管理用計器/タイムスイッチ	052-719-4556

お問い合わせの際には、今一度電話番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願い致します。

三菱電機FAサイト

三菱電機 FA

検索

www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

メンバー
登録無料!

インターネットによる情報サービス「三菱電機FAサイト」

三菱電機FAサイトでは、製品や事例などの技術情報に加え、トレーニングスクール情報や各種お問い合わせ窓口をご提供しています。また、メンバー登録いただくとマニュアルやCADデータ等のダウンロード、eラーニングなどの各種サービスをご利用いただけます。